

第113回【相続寺子屋 東京】

日時／平成29年7月21日(金) 18:00~22:00

江戸の酒！ 山なれば富士 白酒なれば豊島屋

～400年続く、不易流行の心意気～ (懇親会で日本酒試飲あり)

第1部／東京で商いを四世紀続けるある酒屋のお話

講義 開場／18時 開演／18時15分～20時15分
 場所／江戸東京博物館1F 第1学習室
 住所／墨田区横綱1-4-1 ☎03-3626-9974(代表)

※通常の出入り口が閉まっている場合は、夜間出入り口をご利用下さい。

講師 **吉村 俊之氏** (株)豊島屋本店 代表取締役社長

プロフィール：1959年生まれ。1985年京都大学大学院理学研究科物理学教室修士課程修了。同年(株)日立製作所入社。同社中央研究所にて、半導体集積回路加工プロセス(リソグラフィ)、並びに次世代半導体素子の基礎研究に従事。工学博士。Stanford大学経営大学院経営者課程留学。米系経営コンサルティング会社を経て、2001年(株)家業の豊島屋本店入社。2006年より現職。現在に至る。



講義内容：私共 豊島屋本店は慶長元年(1596)に、神田鎌倉河岸(現在の千代田区内神田)にて酒屋兼居酒屋として、豊島屋十右衛門という者が創業致しました。居酒屋のルーツとも言われております。江戸時代は白酒のみを醸し、専ら関西からのお酒(下り酒)を販売しておりました。日本酒造りは、明治時代中期に私の曾祖父が始めました。現在、酒蔵は東京西部の東村山市にあり、「金婚」という日本酒(明治神宮様、神田明神様の唯一の御神酒)を醸しております。私共の口伝の家訓は、「お客様第一、信用第一」です。また行動規範は「不易流行」で、「不易(守るべきもの)」と「流行(変わるべきもの)」のバランスが肝要と考え、日々商いを進めております。当日は、私共の御紹介と共に、今後の可能性を含めた日本酒についてのお話をさせていただきます。気軽に聴いていただき、日本文化の表れの一つとしての日本酒について、少しでも御理解を深めていただき、御興味を持っていただければ幸いです。

参加費／2,000円(当日、会場で集金します)

第2部／会場／**両国屋** 参加費／男性3,500円 女性3,000円

懇親会 開宴／20時30分～22時00分 電話／03-3633-1306

場所／墨田区横綱1-3-12 (JR両国駅西口 徒歩1分)

※豊島屋本店さんのご厚意で、日本酒の試飲があります。

FAX:03(3846)1416

参加申込書にご記入の上、FAXにてお申込みください。参加費は当日、会場にて承ります。

第113回【相続寺子屋】参加申込書

フリガナ 参加者名					一般
事務所名					SA 期生
電話番号			FAX番号		
メールアドレス					
一般の方のみ	紹介者(会員)氏名				
参加申込 ○×	第1部		第2部		第3部 ×

